



TITLE:

<記事>2.臨海実習

AUTHOR(S):

CITATION:

<記事>2.臨海実習. 瀬戸臨海実験所年報 1991, 4: 3-4

ISSUE DATE:

1991-03-29

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/178861>

RIGHT:

2. 臨 海 実 習

例年の通り、京都大学理学部をはじめ諸大学の臨海実習が下記のとおり実施された。

○昭和 63 年度

京都大学理学部生物系臨海実習 I	7.9－7.17	延	225 人・日
京都大学理学部生物系臨海実習 II	3.21－3.27*	延	98 人・日
京都大学理学部生物系臨海実習 III	3.14－3.21*	延	56 人・日
京都大学理学部生物系臨海実習 IV	7.9－7.17	延	45 人・日
京都大学大学院理学研究科化学専攻海洋実習	8.7－8.10	延	20 人・日
京都大学理学部博物館学実習	10.2－10.6	延	70 人・日
和歌山大学教育学部生物学臨海実習	4.18－4.21	延	64 人・日
岐阜大学教育学部生物学臨海実習	5.30－6.3	延	65 人・日
和歌山大学教育学部生物学臨海実習	6.14－6.18	延	75 人・日
大阪市立大学理学部生物学臨海実習	7.1－7.6	延	114 人・日
大阪教育大学生物学臨海実習	7.25－7.30	延	156 人・日
大阪大学理学部生物学臨海実習	7.30－8.4	延	162 人・日
京都教育大学生物学臨海実習	8.7－8.13	延	91 人・日
関西学院大学理学部生物学臨海実習	8.27－8.30	延	108 人・日
金沢大学理学部生物学臨海実習	10.24－10.27	延	80 人・日
計	京都大学	6 件	延 514 人・日
	他 大学	国立 7 件	延 693 人・日
		公立 1 件	延 114 人・日
		私立 1 件	延 108 人・日
総計			延 1429 人・日

* 前年度末に実施

○平成元年度

京都大学理学部生物系臨海実習 I	7.14－7.22	延	198 人・日
京都大学理学部生物系臨海実習 II	3.25－4.2*	延	180 人・日
京都大学理学部生物系臨海実習 III	3.20－3.26*	延	84 人・日
京都大学理学部生物系臨海実習 IV	7.14－7.22	延	27 人・日
京都大学理学部地球物理学海洋実習	11.23－11.25	延	30 人・日
京都大学大学院理学研究科化学専攻海洋実習	8.17－8.20	延	32 人・日
京都大学教養部生物学現地実習	2.20－2.22	延	39 人・日
京都大学理学部臨海実験所公開臨海実習	11.1－11.7	延	63 人・日
和歌山大学教育学部生物学臨海実習	4.4－4.8	延	130 人・日
大阪千代田短期大学生物学臨海実習	5.20－5.21	延	50 人・日
岐阜大学教育学部生物学臨海実習	6.5－6.9	延	105 人・日
和歌山大学教育学部生物学臨海実習	6.20－6.24	延	125 人・日
大阪市立大学理学部生物学臨海実習	7.3－7.8	延	144 人・日

大阪教育大学生物学臨海実習	7.27-8.1	延	162人・日
大阪大学理学部生物学臨海実習	8.1-8.6	延	126人・日
鳴門教育大学生物学臨海実習	8.6-8.9	延	72人・日
滋賀大学教育学部生物学臨海実習	8.17-8.21	延	75人・日
京都教育大学生物学臨海実習	8.24-8.30	延	91人・日
関西学院大学理学部生物学臨海実習	8.30-9.1	延	81人・日
金沢大学理学部生物学臨海実習	9.12-9.15	延	100人・日
大阪千代田短期大学生物学臨海実習	2.13-2.15	延	24人・日
計	京都大学	7件	延 590人・日
	公開臨海学習	1件	延 63人・日
	他 大学	国立 9件	延 986人・日
		公立 1件	延 144人・日
		私立 3件	延 155人・日
総計		21件	延 1938人・日

* 前年度末に実施

○ 公開臨海実習は「博物館学実習としての水族館学実習」と題して実施し、東京大学・名古屋大学・奈良女子大学・琉球大学の理学部学生8名が受講した。

3. 研究会・来訪研究者

下記の研究会が開催された。

○「第6回瀬戸海洋生物学セミナー」

話題提供：Dr. M. J. Grygier (琉球大学外国人研究員), "Steps toward a phylogeny of Maxillopoda"

1988年10月21日。

○「第7回瀬戸海洋生物学セミナー」

話題提供：Dr. P. V. Fankboner (Simon Fraser University), "The biology of giant clams (Bivalvia: Tridacnidae)"

1988年11月25日。

○「第8回瀬戸海洋生物学セミナー」

話題提供：Professor J. S. Pearse (University of California), "Patterns of lunar gametogenic rhythms in tropical Pacific populations of two sympatric species of the sea urchin genus *Diadema*"; Dr. Vicki B. Pearse (University of California), "*Trichoplax adhaerens* (Phylum Placozoa), the simplest metazoans"

1989年7月8日。

来訪研究者は次の通りであった。

○ 昭和63年度 (1988年4月1日-1989年3月31日)

学内	36名	531日
学外	102名	554日
合計	138名	1085日
内外国人	14名	109日

氏名	所 属	日数
ABDUREDHA, J. S.	宇部短大	1
阿部 直哉	京都大理動物	*
ADIKARI, M. S. P.	宇部短大	1
鯉坂 哲朗	京都大農	5
馬場菊太郎	大阪教育大名誉	3
BIERI, R.	Yellow Springs	4
CESAR, A. A. S.	宇部短大	1